

八王子野菜紹介のためのPOPと日めくりカレンダーのデザイン

Vegetable POP design and daily calendar

野菜食べ隊

山田 匡希¹⁾, 堀内 暁陽¹⁾, 石川 覚¹⁾, 樋口 朋妥¹⁾

指導教員 永見 豊¹⁾

1) 拓殖大学 工学部 デザイン学科 永見研究室

キーワード：ポップデザイン, 日めくりカレンダー

1. はじめに

農林水産省は令和二年に閣議決定された「食料・農業・農村基本」において地産地消を推奨している。その中で、「食料自給率の向上に加え、直売所や加工の取組などを通じて農林水産業の6次産業化につながるもの」として、直売所を推奨している[1]。

2022年、農業協同組合（以下、JA）八王子ふれあい市場の野菜直売所の入口に、私たちの研究室の先輩方はデザインしたのぼり旗を設置し、イメージ向上を行った。その時の申し送り事項として、直売所内部での八王子野菜のPRが挙げられていた。現在、野菜の紹介方法は、手描きのポップであり、地産地消を進めるうえで重要な八王子野菜も、周りの野菜に埋もれてしまい、あまり目立っていない。そこで、本研究では、野菜を紹介する魅力的なポップおよび日めくりカレンダーを提案する。

2. JA八王子直売所へのヒヤリング調査

JA八王子ふれあい市場にヒヤリング調査を行ったところ、商品紹介のポップはあまりなく、八王子産野菜のアピールが弱いことが分かった。（図1）また、八王子市内の農家の減少に伴って、野菜の清算が減少しており、名産の高倉大根も今では一軒でしか生産されていないことが分かった。



図1 JA八王子直売所の様子

3. 商品ポップと日めくりカレンダーの効果

(1) 野菜売りの商品ポップ

商品紹介ポップを作ることによって、4つの効果が期待できる[2]。

- ① ポップアウト効果
- ② 消費者への情報提供
- ③ 視覚的な魅力を引き出す
- ④ 地元農産物のサポート

(2) 日めくりカレンダー

日めくりカレンダーには5つの効果が期待できる。[3]

- ① サプリミナル効果
- ② 人々の意識を高める
- ③ 地元農産物のサポート
- ④ 持続可能な生活への促進
- ⑤ コミュニティ結束

4. 八王子野菜紹介のためのデザイン提案

(1) 野菜キャラクター

愛着が湧き、目を引くことを目的として POP デザインと日めくりカレンダー用のキャラクターを制作した。のぼり旗様に制作したキャラクターに新たなキャラクターを加えた (図2)。



図2 デザインしたキャラクター

(2) 商品ポップのデザイン

キャラクターを用いた POP を製作した。キャラクターがいることにより目を引き、八王子野菜の知識を深めることができるポップとなっている。

(図3)



図3 ポップのデザイン一例

(3) 日めくりカレンダーのデザイン

毎日、1日1枚ずつめくり野菜についての知識を増やすことができるようにしている。さらに、地元農産物についての知識も深めることができる。



図4 日めくりカレンダーの一例

4. おわりに

現段階ではポップおよび日めくりカレンダーの検証はできていない。これから JA 八王子ふれあい市場の JA 協力のもと設置させていただき、検証しデザイン改善を行う予定である。

今後の展開として、来年度の「大学コンソーシアム八王子学生生活動支援事業」の補助を申請し、日めくりカレンダーを複数製作し、八王子市の学校、児童施設などに配布することを考えている。

参考文献

- [1] 農林水産省大臣官房 新事業・食品産業部, 地産地消の推進について https://www.maff.go.jp/j/keikaku/k_aratana/ 発表日: 2020年3月31日 (2023年10月18日閲覧)
- [2] KAIZEN BASE, ポップアウト効果について, <https://kaizen-base.com/column/33163/> 発表日: 2021年11月4日 (2023年10月16日閲覧)
- [3] カレンダー工場の東京宣伝社発! お役立ちコラム, サプリミナル効果について <https://365calendar.info/blog/?p=353> 発表日: 2021年7月16日 (2023年10月16日閲覧)